

# 平成26年度予算見積調書

課室名：会計課  
 担当名：予算係  
 内線：2234

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B1	大宮警察署等統合庁舎建設費(3か年継続事業第1年次・国庫補助事業)			一般会計	警察費	警察管理費	警察施設費	大宮警察署等統合庁舎建設費(継続事業第1年次支出額)	
事業期間	平成26年度～平成28年度	根拠法令	警察法				戦略項目		
							分野施策	010401 防犯対策の推進と捜査活動の強化	
<b>1 事業の概要</b> 老朽・狭あい化が著しく、耐震性が十分でない大宮警察署庁舎及び科学捜査研究所庁舎と警察本部内の鑑識課を移転統合した警察施設の整備を行う。  (1) 継続費分 466,787千円				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 ア 継続費分 庁舎建設費(3か年継続事業第1年次分) 466,787千円 イ 建設概要 ・所在地：さいたま市大宮区北袋町1丁目地内 ・敷地面積：11,000.15㎡(隣接道路拡幅予定分約1,000㎡含む) ・庁舎規模：鉄骨鉄筋コンクリート造 7階 約12,000㎡ ウ 建設コンセプト ・災害に強い庁舎：代替災害対策本部スペース・給油施設・非常用発動発電機等の設置 最高度の耐震性(構造耐震指標0.9相当)を確保 ・長寿命化による低コスト庁舎：目標耐用年数100年を想定した設計 ・環境、省エネに配慮した庁舎：地中熱利用システム・太陽光発電設備・雨水利用システムの設置 (2) 事業計画 ア 総事業費 9,116,489千円 ・平成24年度(9月補正) 用地取得 2,863,280千円 ・平成25年度 調査設計 202,788千円 ・平成26～28年度 庁舎建設 5,918,421千円(3か年継続事業) ・平成28年度 現大宮警察署庁舎解体 132,000千円 (3) 事業効果 県民サービスの向上と犯罪や災害における県民の安全・安心が一層強化されるとともに、災害時のリスク分散を図ることで県警察の災害対策機能の強化を進める。 また、首都圏の災害時のバックアップを担うに相応しい、さいたま新都心において国等の機関との災害活動の連携強化が図られ、県民の安全・安心を脅かす危機や災害にも対処できる体制が確保される。 (4) 統合施設の現況 ア 大宮警察署庁舎：さいたま市大宮区、昭和50年9月建設(38年経過)、敷地面積7,017㎡ 耐震性能ランク (構造耐震指標0.37) イ 科学捜査研究所庁舎：さいたま市浦和区、昭和42年12月建設(46年経過)、敷地面積6,492㎡ 耐震性能ランク (構造耐震指標0.58) ウ 本部鑑識課：県庁第二庁舎8階、使用面積530㎡					
<b>2 事業主体及び負担区分</b> (国5/10・県5/10)									
<b>3 地方財政措置の状況</b> 普通交付税(包括算定経費) <b>5 建設事業費</b> その他の建設事業費									
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b>									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比
		国庫支出金	県債						
決定額	466,787	98,839	362,000					5,948	263,999
前年額	202,788		194,000					8,788	